

科目名「高齢者歯科学」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	野本 たかと
科目ナンバリング	C-7-④-I-11	
単位数	1	
学習目標 (GIO)	要介護者人口の増加に伴う福祉・医療費の増大が懸念されており、国民の健康問題が大きな課題である。こうした課題は地域支援によって解決されるべきものであり、地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として健康増進の鍵となる口腔機能の維持を担う責任がある。そのため高齢者にとって適切な歯科医療にとどまらず、高齢者の取り巻く社会環境を熟知しておく必要がある。地域歯科医療において高齢者のための包括的な歯科医療における課題を解決できる基本的能力を修得する。	
担当教員	野本たかと、小見山道、梅澤幸司、田中陽子、飯田崇、遠藤眞美、矢口学、井樋加奈子	
教科書	「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」森戸光彦 監修 (永末書店)	
参考図書	「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科」戸原玄 監修 (医歯薬出版) 「有病者・高齢者歯科治療マニュアル」上田 裕 監修 (医歯薬出版) 「歯科衛生士のための有病者歯科医療」白川正順 監修 (クインテッセンス出版)	
評価方法 (EV)	平常試験と定期試験を最終評価とする。平常試験、定期試験ともに各講義担当教員が出題し、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。最終評価が60点に達しない場合には、全範囲における再試験を行う。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	超高齢社会である日本において要介護高齢者の増加および発達期の障害者の高齢化により福祉・医療サービスの必要な人口は増加しており、地域での支援体制が強化されている。そのため歯科衛生士として将来的に高齢者・障害児者の歯科口腔保健を担う必要があることを認識して受講して下さい。オフィスアワー：月曜日～金曜日 8：30～17：30	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/3	高齢者と 社会福祉	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 社会における高齢者のおかれた環境について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢化、高齢社会、高齢者の社会的環境を説明できる 2. 高齢者に関する福祉政策について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢化に伴う社会的課題 復習時間：60分、復習内容：高齢者の置かれた社会環境 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢社会の問題点と社会福祉について学ぶ	★野本たかと
第2回 4/10	加齢と老化	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者の身体的・精神的社会的機能の変化について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 加齢に伴う生理的变化と病的変化について説明できる 2. 老年期の社会生活機能の変化について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢社会の問題点と社会福祉 復習時間：60分、復習内容：加齢に伴う全身の変化 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して加齢に伴う全身の変化について学ぶ	★田中陽子

<p>第3回 4/17</p>	<p>高齢者の全身疾患と歯科診療での配慮</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者にみられる全身疾患並びに歯科診療上の配慮を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者に多い疾患の定義・原因・病態について説明できる 2. 1における歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：加齢に伴う全身の変化 復習時間：60分，復習内容：全身疾患と歯科治療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して有病高齢者の歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★矢口学 (野本 たかと)</p>
<p>第4回 4/24</p>	<p>高齢者と薬剤</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者に対する歯科診療上の薬剤使用にける配慮を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の薬物動態について説明できる 2. ポリファーマシーについて説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：高齢者の機能低下 復習時間：60分，復習内容：高齢者における薬剤投与の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，高齢者の薬物代謝と投与における配慮を学ぶ</p>	<p>★矢口学 (野本 たかと)</p>
<p>第5回 5/8</p>	<p>高齢者のための感染予防対策管理</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 易感染性である高齢者のための感染予防管理の重要性を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者における感染症の特徴を説明できる 2. 感染予防対策について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：高齢者の機能低下 復習時間：60分，復習内容：高齢者における感染症の発症と対策 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，高齢者の感染予防の重要性と対応法を学ぶ</p>	<p>★矢口学 (野本 たかと)</p>
<p>第6回 5/15</p>	<p>平常試験1および解説講義</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 平常試験1までに行われた講義内容を理解し，目標を達成できているかを確認することで自己評価が出来る 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者のおかれた社会環境について説明できる 2. 高齢者における全身機能について説明できる 3. 高齢者にみられる全身疾患と歯科診療上の配慮を説明できる 4. 高齢者に対する歯科診療上の薬物投与について説明できる 5. 高齢者における感染症と予防対策について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：200分，予習内容：1回から5回までの講義内容 復習時間：60分，復習内容：習得できていない項目 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 解説講義を介して修得できていない項目について確認する</p>	<p>★野本たかと ★田中陽子 ★矢口学</p>

<p>第7回 5/22</p>	<p>高齢者の 歯科診療への導入</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者の機能と派生する行動特性を理解し、歯科診療において必要な配慮についての知識を習得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の行動特性について説明できる 2. 高齢者とのコミュニケーション方法について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢者における全身機能の特徴 復習時間：60分、復習内容：高齢者の行動特性とコミュニケーション方法 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して、行動特性とコミュニケーション方法を学ぶ</p>	<p>★遠藤真美</p>
<p>第8回 5/29</p>	<p>高齢者の口腔内の 変化と疾患への対応1</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 加齢に伴う口腔機能の低下と高齢者に多く認められる口腔疾患について理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者における口腔機能の特徴を説明できる 2. 高齢者にみられる口腔疾患について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：口腔機能についての基本的知識 復習時間：60分、復習内容：高齢者の口腔内環境 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢者における口腔機能との特徴と疾患を学ぶ</p>	<p>★飯田 崇 ★小見山 道</p>
<p>第9回 6/5</p>	<p>高齢者の口腔内の 変化と疾患への対応2</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者の歯科治療計画を立案するための知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の歯科治療の実際について説明できる 2. 高齢者の歯科治療計画立案の仕方について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢者の口腔内環境と疾患 復習時間：60分、復習内容：高齢者への歯科治療計画立案 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢者の歯科治療計画の率立案を学ぶ</p>	<p>★飯田 崇 ★小見山 道</p>
<p>第10回 6/12</p>	<p>高齢者における 口腔機能管理 その1 基本的事項</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者における口腔機能管理の基本的事項について理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔機能と全身機能の関係性について説明できる 2. 健康増進支援からみた口腔機能管理の重要性を説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：高齢者の感染症と口腔機能 復習時間：60分、復習内容：高齢者の口腔機能管理の重要性 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢者の口腔機能管理の重要性を学ぶ</p>	<p>★遠藤真美</p>

<p>第11回 6/19</p>	<p>高齢者に対する 口腔機能管理 その2 実践</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科衛生として高齢者の口腔ケア提供のための衛生過程を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者における衛生過程について説明できる 2. 高齢者への口腔管理の具体的な手法について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：口腔機能と全身機能との関連性 復習時間：60分，復習内容：口腔ケアの具体的な手法 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，高齢者の口腔機能管理における具体的な手法を学ぶ</p>	<p>★井樋加奈子 (野本 たかと)</p>
<p>第12回 6/26</p>	<p>高齢者の 摂食嚥下リハビリ テーション</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者に対する摂食嚥下リハビリテーションの重要性を理解し，具体的な手法についての知識を習得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者における摂食嚥下リハビリテーションの目的を説明できる 2. 1における具体的な手法について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：高齢者の口腔機能の特徴 復習時間：60分，復習内容：高齢者の摂食嚥下リハビリテーションについての具体的な手法 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，高齢者の摂食嚥下リハビリテーションを学ぶ</p>	<p>★田中陽子</p>
<p>第13回 7/3</p>	<p>要介護高齢者の 現状と 医療実態</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 地域口腔保健活動に携わるために要介護高齢者のおかれた社会環境と福祉医療についてを理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 要介護高齢者の全身および口腔の特徴について説明できる 2. 要介護高齢者の社会福祉社会的環境について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：要介護高齢者の福祉・医療 復習時間：60分，復習内容：要介護高齢者と口腔の関連性 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，要介護高齢者の環境について学ぶ</p>	<p>★梅澤幸司</p>
<p>第14回 7/10</p>	<p>介護保険と口腔機能</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 介護保険における口腔機能の役割を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 介護保険についての概略を説明できる。 2. 介護保険からみた口腔機能の重要性について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：要介護高齢者の置かれた社会環境 復習時間：60分，復習内容：介護保険と口腔機能の関係性 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，介護保険における口腔機能の役割を学ぶ</p>	<p>★梅澤幸司</p>

<p>第15回 7/17</p>	<p>在宅患者における 地域連携</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 在宅患者に対する口腔機能維持について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 地域包括ケアについて説明できる 2. 地域連携を基にした訪問歯科診療について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：介護保険と口腔機能 復習時間：60分，復習内容：訪問歯科診療と地域連携 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，訪問歯科診療と地域連携について学ぶ</p>	<p>★梅澤幸司</p>
----------------------	--------------------------	--	--------------